家の光

IE no HIKARI

２月号の主な内容

定価９００円（税込み）

特集　畑や台所から考える　日本の農業問題

担い手不足や高齢化、生産コストの高騰、地球環境の変化、米の需給調整など、日本の農業・農政は多くの課題を抱えています。食料不足や価格高騰を通じて、私たちの暮らしにも直結する問題です。本特集では、その課題を自分ごととして考えられるように、漫画や図解でわかりやすく解説。ＪＡの女性組合長や女性理事、生産部会の女性部会長らの声から、課題への向き合い方を学びます。学習会に役立つクイズも掲載します。

別冊付録　脳を活性化し、心を整える
おとなの音読レッスン

人の名前や言いたい言葉がすぐに出てこないなど、年齢とともに増える物忘れの悩み。脳は適切なトレーニングで、いくつになっても成長できるといわれます。本付録では、懐かしい名作や、声に出して心地よい作品、心がほっとする作品を収録。音読することで脳の活性化や、ストレスの軽減、誤嚥予防、滑舌の改善などに期待できます。楽しく脳を鍛え、心身を健やかに整える習慣を提案します。

地上

GOOD EARTH

Facebook
やってます

定価７５０円（税込み）

ちゃぐりん

インスタ
やってるよ

定価６００円（税込み）

特集　デザイン、販促、イベントなどにおける生成ＡＩ活用

売るためのＡＩの使い方を考える

販促ＰＯＰやイベント告知、または商品でも生成ＡＩイラストやデザインを使うことが増えています。簡単にできてしまいますが、一方で顧客の反発や信用の低下にも繋がりかねません。ジブリ風ＡＩなど倫理を疑われかねない使用例もあり、炎上騒ぎになっているものもあります。生成ＡＩデザインは、顧客イメージ、そして法リスクを鑑みながら活用しなければいけません。農家にとっても、現状はまだまだなじみは少ないものの、今後、販促ＰＯＰ、イベント告知、商品パッケージなどで使うことが増えると考えられます。

そこで、ＡＩデザインの成功事例、デザインの本質に至るまで、販促におけるＡＩ活用のあり方を、デザイナーや法制度の専門家などに聞き、考えます。

食＆農企画

ゴロゴロ野菜のけんちん汁

ダイコン、ニンジン、ゴボウ、長ネギなど、冬野菜をたっぷり味わえるけんちん汁の作り方を紹介します。大きめに切った野菜と油揚げをごま油でさっと炒め、後はじっくり煮るだけ。手軽な作り方ながら、素材それぞれのうまみが溶け合い、コク豊かな満足感のある一杯に仕上がります。ショウガを加えることで、食べるほどに体が温まるのもうれしいところ。

基本のけんちん汁に加え、風味豊かなきのこ入りのけんちん汁やサツマイモと豚肉を組み合わせたけんちん汁も掲載します。冬野菜のおいしさを生かしながら、具材の違いによる味わいも楽しめます。どれも気軽に作れて、寒い日にぴったりです。ぜひ毎日の食卓でお楽しみください。

※企画・タイトルは変更することがあります。

お申し込みはお近くのJAへ。